

県立病院を良くする会 議事録

●日 時 令和8年3月9日（月）15:00～16:40

●会 場 WEB開催（徳島県庁10階 ほか）

●出席者

（委員）菅 井 弘 昭 委員（三好病院を応援する会 会長）
鈴 記 洋 子 委員（公益社団法人徳島県看護協会 第一副会長）
姫 田 知 子 委員（四国大学短期大学部幼児教育保育科 准教授）
細 川 忍 委員（徳島赤十字病院 副院長）
真 鍋 恵美子 委員（税理士法人すばる会計 公認会計士）
元 木 由 美 委員（一般社団法人徳島県医師会 常任理事）
八 木 秀 介 委員（徳島大学大学院医歯薬学研究部 特任教授）
楊 河 宏 章 委員（徳島文理大学保健福祉学部看護学科 教授）

（ 県 ） 病院事業管理者、病院局長、病院局副局長
中央病院（院長・看護局長・事務局長）
三好病院（院長・看護局長・事務局長）
海部病院（院長・看護局長・事務局長）
本 局（総務課長・経営改革課長）ほか

●会議の概要

開会	
司会 (経営改革課副課長)	定刻となりましたので、ただ今から、「令和7年度県立病院を良くする会」を開会いたします。 病院局経営改革課副課長の北畑でございます。本日の司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。開会にあたりまして、北畑 徳島県病院事業管理者から御挨拶申し上げます。
病院事業管理者	(挨拶) 徳島県病院事業管理者の北畑でございます。 委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、「県立病院を良くする会」に御出席を頂き、厚くお礼申し上げます。 近年、診療材料や医薬品価格の急激な上昇、そして人件費の大幅な増加などにより、医療を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、現行の診療報酬制度のもとでは、一病院の経営努力だけでは対応が困難な状況となっ

	<p>ております。その結果、アフターコロナのこの2年間、全国の多くの公立病院と同様に、本県の県立病院も極めて厳しい経営状況に直面しています。</p> <p>そこで、県立病院が将来にわたり県民の皆様へ良質な医療を持続的に提供していくため、経営改善に向けた施策等を取りまとめた「徳島県立病院経営改善方針」を昨年12月に策定いたしました。</p> <p>今後は、病院事業経営強化計画の見直しも視野に入れながら、県立病院の機能強化と経営改善を着実に進めてまいりたいと考えております。</p> <p>県立病院が基本理念に掲げる「県民医療の最後の砦」として、その役割をしっかりと果たし、医療の質の向上と地域医療の充実に繋げていくため、委員の皆様から幅広い視点で御意見を賜りたいと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>議事に入ります前に、当会議の開催趣旨等について御説明いたします。当会議におきましては、県立病院を良くする会設置要綱第2条に規定されておりますとおり、「経営強化計画の達成状況の評価及び見直し」や「県立病院の基本理念の実現に必要な事項」について、委員の皆様に必要な御提言を頂くこととしております。本日は、「徳島県病院事業経営強化計画」の取組状況と、県立3病院の取組状況を御説明させていただきます。</p> <p>委員の皆様方からは、より良い病院づくりのために、様々な御提言を頂きたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、任期満了による委員改選後、最初の会議となりますので、各委員の皆様方を御紹介させていただきたいと存じます。お手元の委員名簿の順に御紹介させていただきます。</p> <p>病院局の出席者につきましては、病院局等出席者名簿のとおりとなっております。</p> <p>なお、会議につきましては、設置要綱第5条第3項により、公開とされておりますので、後日、発言された委員のお名前は記載せずに、病院局のホームページ上で議事録を公開したいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
議事	
(1) 「会長及び副会長の選任」	
司会	<p>議事(1)は「会長及び副会長の選任」でございます。</p> <p>設置要綱第4条第2項では、「会長は、委員が互選し、副会長は、委員のうちから会長が指名する」とこととされております。</p> <p>会長につきましては、互選となっておりますので、どなたか御推薦をお願いできませんでしょうか。</p>
委員	<p>徳島大学の総合診療分野で御活躍されている八木委員は、地域医療全体を見渡した広い御見識をお持ちです。また、これまで本会の副会長として会の運営にも御尽力いただいております。こうした経験と見識を踏まえ、会長として大変適任であると考えますので、八木委員を会長に推薦いたします。</p>

司会	ただいま委員から、八木委員を会長に御推薦いただきました。いかがでしょうか。
委員一同	(異議なし)
司会	よろしいでしょうか。 それでは、八木委員に会長をお願いしたいと存じます。 これからの進行につきましては、八木会長をお願いいたします。
会長	会長を仰せつかりました八木でございます。会の円滑な運営に努めてまいりたいと存じますので、皆様の御協力をお願いいたします。それでは、議事を進行させていただきます。 まず、設置要綱によると、副会長は会長の指名となっているとのことです。副会長には、ぜひ、楊河委員をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。
委員一同	(異議なし)
会長	それでは、楊河委員どうぞよろしく申し上げます。
(2) 「『徳島県病院事業経営強化計画（徳島県立病院経営強化プラン）』の令和6年度取組の評価等について」 (3) 「各県立病院の取組状況について」	
会長	それでは、議事(2)の「『徳島県病院事業経営強化計画』の令和6年度取組の評価等について」と、議事(3)の「各県立病院の取組状況について」を、事務局から、まとめて御説明いただき、その後、委員の方々より、御提言等を頂きたいと考えております。 それでは、資料の説明をお願いします。
(病院局経営改革課 説明)	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料2 徳島県病院事業経営強化計画の取組状況 ・資料3 徳島県病院事業経営強化計画KPI<令和7年度速報値> 	
(各県立病院 説明)	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料4 各県立病院の取組状況 	
(4) 意見交換	
会長	ありがとうございました。 それでは、委員の皆様におかれましては、只今の説明に対しまして、ぜひ、質問や有意義な御提言などをお願いしたいと思います。 どなたからでも結構ですので、いかがでしょうか。
委員	県立病院の皆様には日頃より、救急患者の受入れをはじめ、地域医療において大変お世話になっております。1点質問をさせていただきます。 病床稼働率に関してですが、資料2と資料3には、それぞれの病院の病床利用率が記載されていますが、令和7年12月の速報値で中央病院が76.7%、ただ、令和7年度の目標値は86%となっています。三好病院においては、12月の速報値54.4%で昨年度の61%より下がっていま

	<p>す。もともとの令和7年度の目標値は70%です。海部病院は目標値を達成しているという状況ですが、この目標値は実現可能なものなのか、損益分岐点あたりで計算されたものなのか、その目標値の設定についてお聞きしたいです。</p> <p>あと、プレゼンテーションで三好病院においては、かなり人口が減少しているという話もありましたが、徳島県全体の人口も減少してますので、特に、救急医療を担う急性期病院の患者、若年層の患者がさらに減ってくると思うんです。その中で、今の病床数が適正なのかどうかという点も踏まえて、お考えを聞かせていただけたらと思います。</p>
会長	<p>病床利用率の件について、県立中央病院から順番にお答えいただければと思います。いかがでしょうか。</p>
中央病院	<p>資料に記載の令和6年度実績77.6%というのは、まだ目標値に達していないので低いと思います。それで、中央病院のプレゼンテーションでも説明しましたが、1日当たりの入院患者数の目標値を今367人にしています。この目標値は、令和元年度に当院が実際達成していた数でございまして、今現在、近づいてきています。それが達成できれば、経営改善につながるという基準として、目標値を出しておりまして、入院患者数が1日360人台の後半ぐらいになると、この病床利用率の目標値をクリアすると考えて目標としてしております。</p>
三好病院	<p>委員のおっしゃるとおりで、当院は特に人口減の中ではありますが、病床利用率70%を目標に広域化して、四国中央市、それから三豊・観音寺地区からも患者さんを受け入れていかなければならないですし、当院も稼働率としては退院と入院が頻回にあり、回転率も上がってます。あと、新規入院数が1日当たり9人くらいですので、その辺りもしっかり上げていこうとは思っております。</p> <p>それと、当院の1つの使命として、地域医療支援病院を担っており、病床数200床以上という条件がありまして、今の病床数と今の入院数による利用率を比較すると、ギャップがあるかもしれませんが、しっかり埋めてまいりたいと思います。</p>
海部病院	<p>海部病院は110床に対して、昨年度の1日平均入院患者数が69.9人でした。それで、少しずつ上げていこうということで、今年度これまでに75人まで達成できました。</p> <p>急に利用率を上げると、なかなか看護師の負担も大きくなって、フリクションが生じますので、業務改善を図りながら少しずつ上げていこうということで、来年度は80人としています。毎朝、電子カルテに提示して、幹部職員で患者数を確認しながら、救急は当然急性期も受け入れますし、当院は慢性期の地域包括ケア病棟もありますので、適切なケアをして在宅に戻れる準備をしてから帰っていただくようにと、入院患者の確保に務めております。</p>

委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今後、地域医療構想の中で、それぞれの病院の病床機能も含めて、病床数を話し合っていくと思いますが、県立病院や他の公立病院と違い、民間の医療機関は赤字の補填がありませんので、非常に厳しい経営状況の中で運営しています。そのため、それぞれの地域の医療ニーズ、患者の動向などを踏まえた中で、適正な病床の規模であったり、見直しを一緒にしていただければと思いますので、これからもよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>3病院の取組について、説明ありがとうございました。</p> <p>資料3のKPIの部分に関してですが、目標値について、先ほどの委員の御意見とも少し重なるところがあるかもしれませんが、令和7年度の速報値が、令和9年度の目標値の非常に近いところまで来ている、あるいは、もう既に達成しているような場合、目標値はそのままにしておくという認識でよかったですでしょうかというところが、まず1点です。</p> <p>あと、私は地域の子育て支援とか、地域をつくっていくとか、その辺りが研究の専門分野になりますが、海部病院の「てんとうむしの会」の取組について、とても興味深く伺いました。その中で、産休・育休後の復職率であったりとか、あるいは、その職員の定着に良い影響が出ているものと思いますが、具体的にどのような影響が出ているのかを教えていただけたらと思います。</p>
会長	<p>それでは、御回答をよろしく願います。</p>
病院局 経営改革課	<p>最初に御質問いただきました目標の設定についてですが、令和7年度と令和9年度という近い年度でそれぞれ設定しております。このことにつきましては、令和4年度末に経営強化計画を策定しましたが、前身の経営計画が令和7年度までの計画となっておりますので、この前計画の令和7年度の目標値を中間目標という形で残しているところです。</p> <p>数値項目につきましては、既に達成しているものも確かにございますが、毎年、変動する要素もありますので、目標値としてはそのまま設定しておき、クリアできるように取り組み、令和9年度に向けて数値を上昇させていくという位置付けでございます。</p>
会長	<p>海部病院からも御回答をお願いします。</p>
海部病院	<p>御質問ありがとうございます。「てんとうむしの会」につきましては、しばらくの間コロナでお休みしてましたが、今年度、また取組させていただきました。</p> <p>子供さんを連れて病院に来ていただくのは、非常に負担になるかと思っていましたが、インタビューの動画で聞いていただいたとおり、いろいろな新しい制度のことや病院の情報が聞けたり、また、職員との交流が持てたりということで、御好評いただいております。</p> <p>今回の取組や御意見を踏まえて、なかなか職員からでは聞きにくいよう</p>

	<p>な情報を、こちらから提供することが非常に大事だと思いました。それから、育休中や産休中の方は、今、病院と切り離されたような感覚をお持ちの方もいらっしゃるので、病院に来ていただき、病院の様子を知っていただくことができ非常に良かったと思っています。</p> <p>また、定着率につきましては、ここ最近、若い方でお辞めになった方は、御家族の転勤で県外に行ってしまったという事例しか、恐らくなかったかと思っています。休みにつきましても、みんなで協力しながら取得しやすい体制もできていますし、こちらからの情報発信も通じて、子育て世代にも、仕事をしながら子育てもしやすい環境になっているかと思っています。</p> <p>海部病院には、4人、5人とお子さんを産んで、子育てされている方もいらっしゃるので、このような細やかな取組が、育休、産休も取りやすい、子育てしながら働きやすい環境に繋がっているのではないかと感じています。</p>
会長	ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。
委員	<p>人材育成については、どの病院も取り組まれているかと思いますが、育成しても県外に行ってしまうことも多く、なかなか徳島県内で就職する方が少なかったり、また、就職しても辞められてしまうことも多くあるかと思っています。そのような中で、海部病院の育休中の支援は、お休みされている方にとって良い取組だと思いつながりながら聞かせていただきました。それで、各病院でスタッフが辞めないために取り組まれていることがあれば教えていただきたいです。</p> <p>それと、県の取組について1点お聞きしますが、県南地域などでは分娩の取扱いがなく、地元で産みたいと思う方がいても、なかなか産めなくて、陣痛が来ながら、例えば40分ぐらいとか離れた場所の病院で産むということも、問題になっていると言いますか、気になる点でして、県としてその辺りについてどのように考えていらっしゃるのかということと、また、分娩に関して混合病棟化されてきておりますので、助産師さんも働く意欲と言いますか、モチベーションが少し下がったりして、辞められる方も多というような話も聞いておりますので、その辺りに関して、県として、それから、中央病院であれば分娩を取り扱っている唯一の県立病院ですので、何か行っている取組みがあれば教えていただきたいと思います。</p>
会長	県として、離職防止策とか今後の取組について、いかがでしょうか。
病院局	<p>離職防止の取組としましては、さきほど海部病院からも御報告させていただいたように各病院において努力している点と、一昨年から離職率のことが少し問題になりましたので、もし仕事を続けることが難しいという方がおいでた場合は、各病院の看護局長等の面談以外に、病院局の職員も面談を行い、事情を聞き取った上で、説得だけではなく、県立病院は3病院ありますので、様々な働き方の条件を提示するなど、できる限り離職率を下げるような努力をしております。</p>

会長	ありがとうございます。 委員、一言お願いできればと思いますが、いかがでしょうか。
委員	中央病院と海部病院からは、精算時のクレジット機能導入の話がありました が、三好病院も入っていますでしょうか。
三好病院	今はまだ入っていませんが、また進めていきたいと思ひます。
委員	県民にとって便利になると思ひますので、御検討いただければと思ひ ます。
会長	そのほか、ございませんでしょうか。
病院局	さきほどの委員の2つ目の御質問にお答えできてなかったと思ひますの で、お答えさせていただきます。 恐らく御指摘されているのは、海部病院の分娩が停止したことに対して、 南部や西部の三好病院を含めて、現在分娩ができないことに対する住民の 方々の不安にどう対応するのかということだと思いますが、1つは、新聞 報道等もされていたと思ひますが、市町村と県保健福祉部で、妊婦さんへ の補助として、実際に分娩を行う病院に前もって早めに移動して宿泊され た場合に、その場合の交通費や宿泊費を補助する制度を新たに作って支援 をしております。
委員	どうもありがとうございました。
会長	それでは、時間が参りましたので、議事を終了させていただきます。 それでは、進行を事務局にお返しします。
閉会	
司会	会長ありがとうございました。 閉会にあたりまして、北畑病院事業管理者より御挨拶申し上げます。
病院事業 管理者	(挨拶) 委員の皆様方におかれましては、大変貴重な御意見、御提言を賜り、心 よりお礼申し上げます。 本日、頂きました御意見につきましては、今後の県立病院の運営や、経 営改善に十分活かしてまいりたいと考えております。県立病院が県民医療 を支える重要な役割を将来にわたり果たしていけるよう、引き続き努めて まいりますので、委員の皆様方には今後とも御理解と御支援を賜りますよ うお願い申し上げます。 簡単ではございますが、以上をもちまして、お礼の御挨拶とさせていた だきます。本日は、誠にありがとうございました。
司会	それでは、これもちまして、「令和7年度県立病院を良くする会」を終 了いたします。 本日はどうもありがとうございました。